



- めざす児童像
あかるい子
がんばる子
たかましい子

さくらざか

- 3つの「あ」の実践～「あんぜん」「あたり前のことをあたり前に」「ありがとう」～

日南市立吾田小学校 学校だより 令和5年2月1日発行 文責:校長

『梅一輪 一輪ほどの 暖かさ』

2月に入りました。桜坂の中程にある梅の木が数輪、花を咲かせていました。寒さはまだまだ厳しいですが、季節は確実に春に向かっていきます。

学校では、安心・安全な学校生活を送れるように、感染対策等の安全管理を徹底して、子ども達に寄り添い、今の学年のまとめをしたり、次の学年の準備をしたりしていきます。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



《《《地域の方々や外部講師を迎えた様々な学習活動》》》

○餅つき:1月17日

5年生が餅つきをしました。4月に植えたもち米を、昔ながらの杵と臼を使って、つきあげました。JAはまゆの女性部、青年部の方々や学習支援ボランティアの方々10名程にお手伝いいただきました。子ども達は杵の振り方やお餅の丸め方を教えてもらい、楽しく活動を支援していただきました。自分たちでついたお餅をおいしく食べる子ども達の笑顔と一緒に談笑していらしゃったボランティアの方々の笑顔が見られてとても良かったです。米作りから餅つきまで地域の方々との交流を通して、子ども達は、吾田の良さを実感できたようです。とてもよい体験ができました。ご協力いただいたボランティアの方々、ありがとうございました。

当日、UMK テレビ宮崎が取材に来ていました。2月12日(日)午後から放送の「oh!宮崎 大地の子カラ」で、そのときの様子が放送されるそうです。是非、ご覧ください。



3月行事予定

日	曜日	行事等
1	水	記名の日
2	木	全校集会 卒業式練習①(5・6年)
3	金	お別れ遠足 弁当の日
7	火	卒業式練習②(5・6年合同)
9	木	卒業式歌練習①(5・6年合同)
10	金	卒業式練習③(5・6年合同)
13	月	卒業式歌練習②(5・6年合同)
14	火	卒業式予行練習(5・6年合同)
16	木	地区児童会
17	金	吾田っ子読書の日
20	月	落とし物チェック日 大掃除
21	火	春分の日
22	水	お別れ集会(1～4年・6年) 給食着回収日
23	木	卒業式、1～4年1時間授業
24	金	修了式、3時間授業

○福祉体験学習:1月25日

4年生が、総合的な学習の時間に、日南市社会福祉協議会の協力で車椅子体験やアイマスク体験を行いました。車椅子体験では、少しの段差も一人で越えることは難しいこと、アイマスク体験では、ただ歩くだけでも、恐怖や不安があること等々、子ども達なりに実感できました。また、介助する側も、難しさを感じていました。終わりの会では、中田直彦さんが、「体の不自由な方の気持ちが分かりました。これから、体の不自由な方を見かけたら手伝いたいです。みんなが幸せに暮らせるような社会にしていきたいです。」と感想とお礼を述べました。とても有意義なハンディキャップ体験学習になりました。



《《《がんばった吾田っ子紹介》》》

○ 旅する読書100冊達成！

2年 森 葉菜さん 5年 佐藤 陽菜子さん

おめでとうございます。

みなさんも、たくさんの本を読みましょう！



○ 第29回宮崎県ヴォーカルアンサンブルフェスティバル

1月22日（日）、メディキット県民文化センターアイザックスターンホールで行われたコンクールに合唱部が4チームに分かれて参加しました。そして、素晴らしい結果を残してくれました。

- ・金賞 Best Friend（6年生のチーム）
- ・金賞 Blue Sky（6・5年生のチーム）
- ・銀賞 Ten Stars（5年生のチーム）
- ・銅賞 Happy Smile（3・4年生のチーム）



○ 日南市「新春子どもの声を聴く会」

優秀賞 6年 河野 稟乎さん

1月19日（木）、日南市内の小・中学校の代表が、将来の夢や今思っていることなどの意見や考えを述べる「新春子どもの声を聴く会」が行われました。3年ぶりに小村記念館で一堂に会して、開催されました。河野さんは、将来の夢を堂々と述べました。

将来は保育士

吾田小学校 六年 河野 稟乎

私には、絶対にかねえたい夢があります。それは、保育士になることです。小さい子どもと一緒に遊んだりお世話をしたりすることが楽しいし、わくわくするからです。

この夢をもつきっかけになったのは、美容師をしている母の手伝いです。私は、小さな子どもを連れてお客さんがお子さんのことを気にせず過ごすことができるように、一緒に遊ぶようにしました。

「いつも一緒に遊んでくれてありがとね。助かるわ。」

と声をかけてくださるお客さんもいて、私もうれしい気持ちになります。この手伝いを通じて、子どものお世話をすることを将来の仕事にしたいと思い、保育士を目指すようになりました。

しかし、簡単に保育士になれるわけではありません。命を預かる責任感、感染症との戦いなど、大変なことがたくさんあります。そのため、将来に向けて今からできることはないかと考えました。

そこで、二つのことを実践することになりました。一つ目は、読み聞かせをすることです。私が保育園に通っていた頃、読み聞かせの時間を楽しみにしていたことを覚えています。私も子どもたちに楽しいと思ってもらえるような読み聞かせがしたいと思い、声や表情を工夫して読むことを意識して学校や家で練習をしています。

二つ目は、保健委員会の仕事を責任をもって行うことです。換気や手洗い、水分補給の呼びかけは、感染症の予防につながります。みんなが健康に過ごせるように活動する保健委員会の仕事は、将来子どもたちの健康を守ることにもつながると思います。

加えて、私には改善するべきところがあります。それは、周りのことに気を配ることが不十分なことです。安心して子どもを預けてもらうためには、自分のことだけでなく周りのことにも常に気を配る必要があると思います。教室で困っている人はいないか、ゴミが落ちていないかなど周りのことにも注意して過ごしていきたいと思っています。

四月からは中学生になり、一歩大人に近づきます。これからも、読み聞かせの練習や責任をもって仕事をする、周りの様子に気を配ることの努力を続けていきます。そして、誰からも信頼され、保護者が安心して子どもを預けることができる保育士を目指して成長していきたいです。

